

SEITOKU

平成28年度入学案内

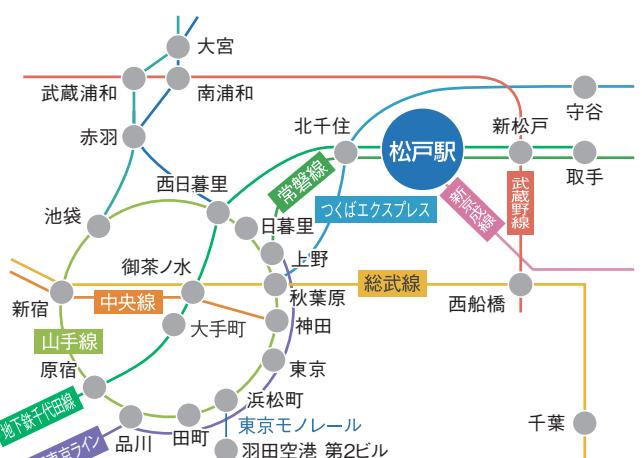
教職大学院案内 2016

都心から楽々アクセス、松戸駅・徒歩5分の快適通学

キャンパスは千葉県松戸市にあり、緑と芸術に囲まれた広大な敷地が自慢です。

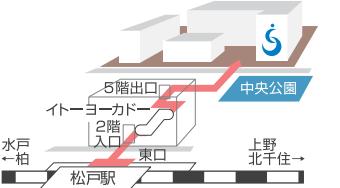
都心の主要駅からのアクセスも、30~40分程度と良好です。松戸駅からは徒歩5分で、近くで便利です。

★最寄り駅(松戸)までのアクセス



2015年3月14日より「上野東京ライン」開業。
品川駅から常磐線乗り入れ

★松戸駅からのアクセス



JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線
「松戸」駅下車東口徒歩5分

※イトヨーカドー内エスカレーターを利用できます。
閉店時は正面の通用階段をご利用ください。
※公共交通機関をご利用いただき、お車での来校はご遠慮ください。

松戸駅までの主な所要時間

上野	20分	千葉	55分
東京	26分	京成津田沼	44分
池袋	35分	大宮	52分
新宿	43分	水戸	102分
横浜	50分	羽田空港	60分
千葉	66分		

*東京モノレール「羽田空港第2ビル駅」より

※時間は目安であり、日付・時刻によって異なりますので、ご注意ください。



聖徳大学大学院 教職大学院

教職研究科 教職実践専攻 [幼児教育コース・児童教育コース]

資料の請求・お問い合わせは 聖徳大学入学センターまで

受験相談フリーダイヤル

0120-66-5531

TEL. 047-366-5551(直通) FAX. 047-366-5553(直通)

[ホームページ] <http://www.seitoku.jp/univ/>

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550 TEL. 047-365-1111(大代表)

聖徳学園は全学園で
ISO9001・ISO14001を同時認証取得 [2003年11月18日] (教育機関として日本初)



聖徳大学教職大学院は「一般財団法人 教員養成機構」が実施する教職大学院等認証評価で、「教職大学院評価基準に適合している」と認定されました。

教育の質マネジメントシステム
ISO9001

環境マネジメントシステム
ISO14001

15.05.02.SA.3W

聖徳大学大学院 教職大学院
教職研究科 教職実践専攻 [幼児教育コース・児童教育コース]

幼稚園教員と 小学校教員を対象に 現代の教育現場で求められる 専門性を磨く。

教育課程

- 研究科・専攻：教職研究科 教職実践専攻(専門職学位課程)
- コース：幼児教育コース／児童教育コース
- 入学定員：15名
- 修業年限：2年又は1年<組織管理マネジメント専修(1年制)は1年で修了>^{*1}
- 修得単位数：46単位(実習8単位免除者は38単位、実習6単位免除者は40単位)^{*2}
- 学位名称：教職修士(専門職)
- 取得免許状：幼児教育コース／幼稚園教諭専修免許状^{*3}、児童教育コース／小学校教諭専修免許状^{*3}

*1:長期履修学生制度(P.13参照)により、出願時に3年又は4年の修業年限を選択することができます。

*2:実習単位の免除は、所定の提出書類により入学者選抜試験に併せて、合格することができます。

*3:専修免許状取得には、各一種免許状を有し、教育職員免許法に定める所定の条件を満たす必要があります。

本学園は創立以来81年間にわたり、「保育の聖徳[®]」として、幼児期から児童期の子どもの研究と教育に真摯に取り組んできました。

平成21年4月、この伝統と実績にもとづいて、さらに実践的な専門性の高い専門家教員(professional teacher)を育成することを目的とした教職大学院を開学しました。

聖徳大学教職大学院は、「幼児教育コース」と「児童教育コース」を設けるとともに、現職教員を対象に組織管理マネジメントをより専門的に修学する1年制の専修プログラムを平成26年度より開始しています。

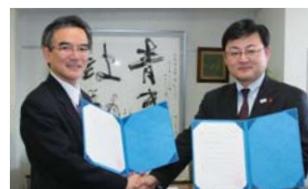
本学教職大学院は、院生の研究課題を大切にし、その解決または開発にむけた実践的で理論的な研究が推進できる教育体制を用意しています。

そのために、キャリアに応じた教育プログラムを用意し、優れた実務経験を有する実務家教員と実践分析と研究を担当する研究者教員が共同して、事例研究と理論分析などを取り入れたカリキュラムのもとで、院生の課題研究の教育にあたります。

本学教職大学院は、連携協力校と協働し、院生の課題研究が学校の研究開発や課題解決につながる、これまでの大学院教育とは一線を画す、新たな教育を展開し、これからの教育現場で本当に求められる専門家教員育成の場を提供しています。

Topic

聖徳大学と千葉県教育委員会が
連携協力に関する協定を締結



01

聖徳大学と千葉県教育委員会は、連携協力に関する協定を締結しています。本学は平成21年度に、教員養成に特化した専門職大学院である教職大学院を設置。千葉県教育委員会と協定を締結することで、教育養成や現場教職員の研修、教育に関する共同研究などについて連携を図り、千葉県の教育力向上に貢献することを目的としています。今後は、教員の派遣や受け入れで相互協力するほか、連絡協議会の設置も予定しています。

松戸市教育委員会と
協働解決研究に関する覚書を締結



02 平成27年3月、聖徳大学大学院教職研究科(教職大学院)と松戸市教育委員会は協働解決研究に関する覚書を締結しました。聖徳大学と松戸市教育委員会との連携協力に関する協定に基づき、本学教職研究科が松戸市教育委員会と協働し、松戸市立小中学校における課題を解決する研究を推進し、本学教職研究科の教育・研究の一層の充実と松戸市立小中学校教育職員の資質の向上を図るとともに、児童生徒の学力向上に寄与することを目的としています。

Contents

キャリアに応じた教育プログラム P3
カリキュラム4つの特色 P4
幼児教育コース P5
児童教育コース P7
教員採用試験への推薦のお知らせ P9
専任教員と主な担当科目 P10
入試情報 P13
学費 P13

キャリアに応じた 教育プログラムを用意

› 学部修了者向け

教職未経験者を対象に
実践的力量を培う

幼稚園・小学校の教員免許状を持つ、又は年度内に取得見込みの教職未経験者を対象に、総合的な人間力と、教育の専門家としての実践的力量を持った教員を育成します。



› 現職教員向け

教育の現場で指導的役割を担う
リーダーを育成

現職教員が対象。経験を積んだ教員としてさらなる専門性と豊かな人間性を身につけ、保護者や地域社会と連携した、活気ある教育活動を展開する力量を持った教育指導者を育成します。

10年経験者研修未修了の方

教職活動の様々な場面において、幼児・児童一人ひとりに適切な対応ができる、保護者、同僚の教員や学校・施設全体と協同して問題解決を図れる実践的力量を持った教員を目指します。

10年経験者研修修了者で 管理職を志向する方

保護者や地域社会との対外関係構築力や、情報収集・発信能力、客観的・論理的な視点を持ち、高い教育環境を築くためのリーダー的役割を担う教員を目指します。

学びを支える様々な仕組み

現職教員が勤務と学習を両立させ、段階的に学習に取り組み、無理なく履修・研究を進められるように環境を整えています。

組織管理マネジメント専修(1年制・昼間)

現職教員を対象として、主に教育実践等の実務経験を有することについて審査を受け、かつ「幼児教育総合実習」または「学校教育総合実習」8単位を取得したことと認められた者については修業年限を1年とする「1年履修プログラム」を履修することができます。

長期履修学生制度(P.13参照)

学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて3年又は4年にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合には、この長期履修学生制度の活用により可能になります。

なお、納付金の総額は、修業年限が3年又は4年の場合でも、修業年限2年の場合とほぼ同額になります。

昼夜開講制

学生各人の学習・研究ニーズに合わせたフレキシブルな履修プランを可能にするため、同じ授業を昼間(1時限～5時限)と夜間(6、7時限)の2回開講して、どちらかを選択できる昼夜開講制を採っております。なお、実習科目は夜間のみで履修することはできません。

授業時間帯は以下のとおりです。

昼間の授業

月曜日～金曜日
1時限から5時限(9:00～17:55)
及び
土曜日
1時限・2時限(9:00～12:15)

夜間の授業

月曜日～金曜日
6時限・7時限(18:00～21:10)
及び
土曜日
3時限から7時限(13:00～21:10)

カリキュラム4つの特色

Point 01 「生徒指導・教育相談」、「学級経営・学校経営」に加えて、「教育課程の編成・実施」及び「教科等の実践的な指導方法」にも対応

修学は全ての教職大学院に必修として置かれる5領域の科目群の他に、本学ではこのうち特に幼小連携、小中連携などの制度改革を含む今日的な課題に対応する「生徒指導・教育相談」、「学級経営・学校経営」に加えて、実践的指導力の育成をねらいに「教育課程の編成・実施」及び「教科等の実践的な指導方法」の領域にも対応いたします。

Point 02 優れた実務経験を有する「実務家教員」と、実践研究に優れた「研究者教員」が連携指導

すべての科目一つひとつについて、実務家教員と研究者教員が連携して指導にあたります。指導の場で、実践と理論が相互交流し、学校場面などにおける課題の発生・解決のプロセスに即した課題解決の場になっています。

Point 03 数多くの「連携協力校」で多様な実習が可能

本学の特長の一つである「理論と実践の融合」を目指し、フィールドワークとしての実習を重視。数多くの連携協力校を設け、院生の問題意識に応える多様な実習を可能にしています。実習にあたっては、事前・事後の指導はもとより、実習先と大学院実習担当教員が密に連携し、実習を円滑に進められるようにサポートします。

Point 04 幼稚園・小学校の「教員専修免許状」が取得可能

幼稚園教諭コースでは幼稚園教諭専修免許状、児童教育コースでは小学校教諭専修免許状が取得できます(専修免許状の取得にあたっては、当該一種免許状を取得している必要があります)。幼稚園教諭・小学校教諭一種免許状を有していない人は「幼稚園・小学校教員免許取得プログラム」等を活用すれば、専修免許状(幼稚園教諭または小学校教諭)の取得が可能*です。

*科目等履修の費用が必要です。また聖徳大学での科目等履修については、女性は通学・通信教育課程、男性は通信教育課程の受講となります。

中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状をお持ちの方へ

幼稚園・小学校教員免許取得プログラム

基本的な履修モデル

中学校・高等学校または養護教諭の教員免許状所有者

1年次
主に、幼稚園教諭一種免許状又は小学校教諭一種免許状に係わる所要単位を取得する。一部、教職研究科の科目も履修できる。

2年次、3年次は、主に教職研究科の幼稚園教育コース又は児童教育コースの教育課程により履修する。併せて、幼稚園教諭一種免許状又は小学校教諭一種免許状に係わる所要単位の残りを取得する。

*幼稚園教諭一種免許状又は小学校教諭一種免許状を本学教職研究科で取得しようとする場合は、出願前に必ず事前相談が必要です。

その他プラス情報

他教科や隣接校種の教員免許状の取得が可能です。

すでに取得している教員免許状を活かし、本学通信教育部などでの科目等履修生にて、必要な単位を修得することで、他教科・隣接校種の教員免許状を申請・取得できます。(詳しくは、本学通信教育部(直通047-365-1200)まで、お問い合わせください。)

他教科の教員免許状の取得

中学の教員免許状を持っている

13単位取得

▶ 他教科の中学校教員二種免許状を申請・取得

隣接校種の教員免許状の取得

小学校の教員免許状を持っている

14単位取得

▶ 中学校の教員二種免許状を申請・取得

※これは、一例です。勤務経験によって必要単位が異なります。教育委員会で必要単位の確認をください。

児童教育コース

小学校教員を対象に、各人のキャリアに対応した教育プログラムによって、実践的指導力を身につける教員の育成を目指します。教員養成や児童研究における聖徳大学の長年の実績を生かし、学校や自治体の教育現場で豊富な経験を持つ教員や専門家が指導にあたります。

カリキュラム

		共通科目(必修)					選択科目・実習																		
領域	学校教育と教員の在り方に関する領域	教育課程の編成・実施に関する領域		教科等の実践的な指導方法に関する領域		生徒指導・教育相談に関する領域		学級経営・学校経営に関する領域		教育課程の編成・実施に関する領域		教科等の実践的な指導方法に関する領域		生徒指導・教育相談に関する領域		学級経営・学校経営に関する領域		特別教職実践演習		実習					
		教育課程の編成・実施に関する領域	教科等の実践的な指導方法に関する領域	生徒指導・教育相談に関する領域	学級経営・学校経営に関する領域	教育課程の編成・実施に関する領域	教科等の実践的な指導方法に関する領域	生徒指導・教育相談に関する領域	学級経営・学校経営に関する領域	教育課程の編成・実施に関する領域	教科等の実践的な指導方法に関する領域	生徒指導・教育相談に関する領域	学級経営・学校経営に関する領域	特別教職実践演習	実習	特別教職実践演習	実習	特別教職実践演習	実習	特別教職実践演習	実習				
科目	現代教育の課題研究	教職教員倫理演習	教育課程基礎演習	授業の高質化演習	学習指導の理論と方法	力養成プログラムマネジメント演習	教育課程基礎演習	授業研究の理論と実践★	生徒指導・教育相談演習	特別支援教育特論	教育行政特論	教育評価の理論と方法★	授業設計の理論と実践★	授業実践評価・改善のためのデータ分析★	学校カリキュラムデザイン★	表現系教科の指導法研究★	自然・生活系教科の教材開発★	人文・社会系教科の教材開発★	健康新教育・体育系教科の指導法研究★	発達心理学実践演習★	力ワーキング実践演習★	危機管理マネジメント演習★	10月	11月	
単位	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	10		
小専免	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

学級経営・学校経営に関する領域を中心に履修するモデルカリキュラム

昼間履修 1年次 前期

月	火	水	木	金	土
2 (10:45~12:15)		教育評価の理論と方法 選択科目	表現系教科の指導法研究 選択科目	教育経営基礎演習 必修科目	教育課程基礎演習 必修科目
3 (13:00~14:30)			自然・生活系教科の指導法研究 選択科目		
4 (14:45~16:15)	授業設計の理論と実践 選択科目	学校経営・組織事例研究 選択科目		学年・学級経営実践演習★	生徒指導実践研究★
5 (16:25~17:55)	健康教育・体育系教科の指導法研究 選択科目		学年・学級経営実践演習★	生徒指導実践研究★	危機管理マネジメント演習★

夜間・土曜履修 1年次 前期

月	火	水	木	金	土
5 (16:25~17:55)					学年指導実践改革・改善の方策 必修科目
6 (18:00~19:30)	教育評価の理論と方法 選択科目	授業設計の理論と実践 選択科目	学年指導の理論と方法 必修科目	教育経営基礎演習 必修科目	
7 (19:40~21:10)			教育課程基礎演習 必修科目	学校経営・組織事例研究 選択科目	

※実習は昼間に実施

児童教育コース 組織管理マネジメント専修(1年制・昼間)

共通科目(22単位)

学校教育と教員の在り方に関する領域／教育課程の編成・実施に関する領域
教科等の実践的な指導方法に関する領域／生徒指導・教育相談に関する領域
学級経営・学校経営に関する領域

学校教育総合実習A-2(2単位)

教育課程の編成・実施に関する領域／教科等の実践的な指導方法に関する領域
生徒指導・教育相談に関する領域／学級経営・学校経営に関する領域
連携協力校での実習時に、合わせて履修・修得します。

1年間で修了

共通科目22単位は必修。

連携協力校での「学校教育総合実習A-2(週3日×1年)」の実習と並行して、連携協力校等での実践の中で選択科目(上記カリキュラム★部分)の中から、14単位以上を履修することになります。必要な単位の修得をもって、1年間で修了することができます。

修了要件

共通科目 22 単位+選択科目 14 単位以上+総合実習 2 単位 ▶ 38 単位以上

Point.1

教員養成、児童研究における伝統と実績

Point.2

教育現場を熟知した経験豊富な教員陣

Point.3

理論と実践から課題を研究し成果を現場に還元

*1: 実習単位の免除は、所定の提出書類により入学者選抜試験に併せて審査を行い、「10年経験者研修未修了者」にあっては6単位、「10年経験者研修修了者」で管理職志向者にあっては8単位を免除することを可能とします。

*2: 専修免許状の取得に必要な単位は所定の科目を履修し、修得する必要があります。

修了要件

学部修了者

共通科目22単位+選択科目14単位以上+総合実習10単位 ▶ 46単位以上 *2

10年経験者研修未修了者

共通科目22単位+選択科目14単位以上+総合実習4単位 *1 ▶ 40単位以上 *2

10年経験者研修修了者で管理職志向者

共通科目22単位+選択科目14単位以上+総合実習2単位 *1 ▶ 38単位以上 *2

児童教育コース・総合教育実践研究(総合実習)の年間スケジュール

A: 10年経験者研修未修了者 B: 10年経験者研修修了者で管理職志向者

対象者	4月	6月		10月	11月
		A	B		
現職教員	1年次	【附属小学校等】 10日間／2週間			【連携協力校】 10日間／2週間
	2年次	事前指導			事後指導
学部修了者	2年次	【附属小学校等】 10日間／2週間		【連携協力校】 20日間／4週間	【附属小学校】 20日間／4週間
	1年次	事前指導		事後指導	

※実習は昼間に実施

学校教育総合実習・連携協力校

地域・近県の公立小学校を中心とした多数の実習先を確保。

児童教育コース・連携協力校

聖徳大学附属小学校、松戸市立北部小学校、松戸市立相模台小学校、松戸市立高木小学校、松戸市立馬橋小学校、松戸市立小金小学校、松戸市立常盤平第二小学校、松戸市立小金北小学校、松戸市立木橋小学校、松戸市立古ヶ崎小学校、松戸市立殿平賀小学校、松戸市立八ヶ崎第二小学校、松戸市立新松戸南小学校、荒川区立第三暮里小学校、荒川区立尾久小学校、足立区立大谷田小学校、足立区立千寿本町小学校、葛飾区立金町小学校、葛飾区立道上小学校、取手市立取手小学校、取手市立寺原小学校、取手市立立ヶ丘小学校、牛久市立向台小学校、牛久市立牛久第二小学校、市川市立鬼高小学校、市川市立稻越小学校、市川市立市川小学校、足立区立上沼田小学校、文京区立昭和小学校、千代田区立昌平小学校、文京区立誠之小学校、文京区立本郷小学校、葛飾区立柴原小学校、足立区立中川東小学校、松戸市立中部小学校、港区立本村小学校、松戸市立松ヶ丘小学校、港区立三光小学校



聖徳大学附属小学校

高度な専門知識を得て、現場に活かしたい



伊藤 千尋さん

2014年4月入学
聖徳大学 児童学科
小学校教員養成コース
卒業

教職大学院に入学したのは、専修免許の取得が可能したこと、教育実習や授業を通して実践的な指導力を身に付けることができると思ったからです。授業は大変興味深く、例えば「人文・社会系教科の指導法研究」では、学部生の前で模擬授業を行い、グラフ等を用いてその授業を細かく分析しました。自分に何が不足しているかを客観的に理解できる契機となりました。将来は小学校教員になり、大学院での専門的な学びを活かし、子供たちが毎日楽しい・学校に行きたいと思える学級づくりと、分かりやすい授業展開の工夫を努めていきたいと思います。

教科指導とともに組織管理の力も養う



山本 亮輔さん

2015年4月入学
千葉県公立小学校勤務

中堅教員となった今、後輩の育成や学校組織への積極的な貢献をしなければという思いが芽生えるとともに、教科指導だけでなく、組織管理という分野でも高度な専門的知識を得たいと思い入学を決意しました。研究者の先生方と、現場経験豊富な先生方から受けた授業はとても学び深いものがあります。本学の教職大学院では、教員として教科指導や生徒指導などの力量を高められるだけでなく、組織管理や経営に関する学びもできます。ここで学んだことを、出会う子供たちは勿論、学校全体へと還元し、一人ひとりが輝ける教育を目指します。

教員採用試験への推薦(大学推薦制度)のお知らせ

教員採用試験大学推薦制度があります。この推薦制度を受けると、1次試験免除などの優遇措置が受けられます。

平成28年度実施の教員採用試験に関してまとめたものが下の表ですが、教職大学院は学部や既存の修士課程に比べて、大学推薦が受けやすくなっています。

教職大学院のみに大学推薦制度を設けたり、推薦枠の拡充を図ったりするなど、教職大学院の修了予定者を優遇する教育委員会もあります。また、神奈川県のように学部・修士課程と教職大学院の両方に推薦枠を設けている教育委員会もあります。

しかし、学部・修士課程と教職大学院を比較すれば、在籍者数が少ない教職大学院で推薦に選ばれる割合の方が高くなります。しかも、本学の場合、教職大学院の修了予定者の半数以上は現職院生ですので、これから教員採用試験を受けようとする学卒院生の修了予定者が推薦される可能性は非常に高くなります。

平成28年度実施教員採用試験における各教育委員会からの推薦枠一覧(5/11現在)

対象	実施機関	推薦人数	募集校種	内容
教職大学院のみ	東京都教育委員会	1名	小学校	一次試験免除
	神奈川県教育委員会	制限なし	小学校	一次試験免除
	横浜市教育委員会	1名	小学校	一次試験免除
	京都市教育委員会	2名	小学校	一次試験免除
教職大学院を含む全学	埼玉県教育委員会	5名	小学校	一次試験免除
	相模原市教育委員会	1名	小学校	一次試験免除
	京都府教育委員会	2名	小学校	一次試験免除
	大阪府教育委員会	2名	小学校	一次試験免除
	大阪府豊能地区	1名	小学校	一次試験免除

■下記の教育委員会については、推薦ではなく、一次試験受験の際に免除されるものである。

対象	実施機関	推薦人数	募集校種	内容
教職大学院を含む全学	千葉県・千葉市教育委員会	2名	小学校	一次試験で教職教養免除
	大阪府堺市教育委員会	1名	小学校	一次試験で教職教養および実技免除

※推薦枠や人数は年度によって変更になる場合があります。

充実した学習環境

豊富な蔵書と最良の学習空間を提供する「図書館」

1号館内にある「川並弘記念図書館」は、約100万冊を収容可能。パソコン操作で貸出しできる自動化書庫を備え、約1,000席もの閲覧席を設置しています。国立情報学研究所が提供する図書館相互貸借システムと連携しており、他大学等の蔵書を複写・貸借することも可能です。

閲覧ラウンジは吹き抜けからの自然採光を生かした明るい空間。落ち着いた開架閲覧室もあり、読書や自主学習にも最適です。

幼児・児童向け図書を揃えた「こども図書館」

図書館内にある「こども図書館」には、幼児・児童向けの図書を約1万冊所蔵しています。読み聞かせができる「おはなしのへや」や、子ども向けの学習用仕掛けを実際に体験できる「たいけんのへや」もあります。

パソコンを自由に使える「メディアパーク」

学生が自由に使えるパソコンが50台あり、持ち込んだパソコンにも対応する無線LANを配備しています。また、図書館との情報の一体化を図り、情報を検索したり、それを論文やレポート作成に利用できるようにするなど利便性にも配慮。IT・情報の中心として活用されています。



図書館とメディアパークが連携した1号館。「知」の拠点として学習をバックアップします。



幼児・児童向け図書を約1万冊所蔵する「こども図書館」。

専任教員と主な担当科目

教職研究科長



専門分野・研究分野
教育工学、教育方法学、メディア教育、情報教育

主な担当科目
現代教育の課題研究／授業研究の理論と実践
授業設計の理論と実践／ICT活用実践の基礎／
ICT活用実践の応用

経歴
1973年東京学芸大学大学院教育学科修士課程修了 教育学修士、東京都立小学校、東京学芸大学附属大泉小学校、東京学芸大学助手、上越教育大学講師・助教授・准教授・教授、同大学院教授を経て、2014年4月より本学に着任。日本教育学会理事、日本教育メディア学会監事、日本教育工学協会評議会会員

教授
南部 昌敏

主な著書・論文・発表等
映像番組理解のための分析的視聴方法の開発～NHK学校放送番組「くらしの歴史・五人組」を用いた教員養成における試み～ 共著 平成16年12月 教育メディア研究第11巻第1号／児童の評価活動を基盤とした情報活用の実践力育成プログラムの開発と評価 共著 平成18年11月 日本教育工学会論文誌第30巻第3号／多人数を対象とした教育メディア間連授業改善の試み～授業者と受講生の意思疎通を図るためのコミュニケーションカードの活用～ 共著 平成20年3月 教育メディア研究第14巻第2号／協働と省察を取り入れたワークショップ型校内教員研修システムの開発～東京都荒川区立尾久第六小学校における校内教員研修の実践を通して～ 共著 平成23年2月 上越教育大学研究紀要第30巻／教員属性、研修参加状況と教師の自己効力感及び教職に関する認知との関連～沖縄県島尻地区の小・中学校教員を対象として～ 共著 平成24年3月 京都教育大学紀要第120巻／中学校への追跡調査による小学校におけるメディア・リテラシー育成要素の提案 共著 平成24年12月 日本教育工学会論文誌第36巻(Suppl.)／教員養成大学における小学校教師としての授業設計能力を育成するための授業プログラムの開発と試行(1) 単著 平成27年3月 聖徳大学大学院教職研究科教職実践研究第5号

幼児教育コース主任



専門分野・研究分野
教育学

主な担当科目
園経営事例研究／幼稚園教育課程事例研究
組織管理マネジメント演習／教育経営基礎演習

経歴
東洋大学大学院文学研究科修了 修士(教育学)
東京都立幼稚園、東京都教育委員会等を経て、1998年4月より本学に着任。全国幼稚教育研究協会前理事長、文部科学省中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)などを歴任

教授
塩 美佐枝

児童教育コース主任



専門分野・研究分野
道徳教育

主な担当科目
教職・教員倫理演習／幼保小連携教育実践演習
学年・学級経営実践研究

経歴
1973年立教大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了。東京都教育庁指導部指導主任、東久留米市教育委員会指導室長、東京都教育庁指導部副主任指導主任、東京都教育庁指導部副参事、東京都公立小学校長を経て、2010年4月より本学に着任。全国小学校道徳教育研究会会長、中央教育審議会道徳教育専門部会委員などを歴任。日本道徳教育学会会員。

教授
吉本 恒幸

幼児期の教育は人間形成の重要な基礎になります。「幼児教育コース」では、優れた実践や園経営を行える教育者の育成を目的としています。教員は幼児教育の研究者のほか、幼稚園の園長経験者や、カウンセリング等の臨床経験を持つ教員など実績ある専門家ばかりです。教員と院生が協働で実践に結びつく課題に取り組んでいるのも特徴です。幼稚園やこども園の教育を構想し、新しい幼児教育の在り方についても研究します。成果は学会などに発表し、研究同人として活動するなど新たな教育研究の場となることを目指しています。

主な著書・論文・発表等

「青年期の認知地域をイメージから探る」 東洋大学大学院修士論文／保育講座「教育課程、保育計画論」 編著 平成11年3月 チャイルド本社／幼稚園教育をどう創るか 共著 平成11年6月 明治図書／新幼稚園教育要領の解説 共著 平成11年9月 ぎょうせい／保育内容総論編著 平成11年10月 光生館／新幼稚園指導要領の記入のポイントと実際例 編著 平成12年7月 学習研究社／保育環境プランニングブック(再掲) 共著 平成13年7月 チャイルド本社／表現する喜びと人のかかわり 単著 平成14年12月 幼稚園じょうう(全国国公立幼稚園長会)／幼稚園教育の充実と教師の専門性 単著 平成16年8月 幼稚園じょうう(全国国公立幼稚園長会) 平成22年4月 チャイルド本社／幼児の遊びと学び 編著 平成27年3月 聖徳大学出版会／幼児理解 一人ひとりに応じた指導 他

授業力を高める校内研修のアイディア 共著 平成18年7月 文溪堂／命を大切にする教育の徹底 共著 平成19年2月 教育開発研究所／規範意識の低下を防ぐために 共著 平成19年4月 文溪堂／「保護者宛文書」トラブル回避術 共著 平成19年7月 教育開発研究所／道徳、この1年でのチャレンジ 共著 平成20年4月 文溪堂／新学習指導要領と道徳教育の改善ポイント 共著 平成21年3月 教育開発研究所／「道徳」趣旨の徹底から具体的な実践へ 共著 平成21年10月 文溪堂／道徳グッズ大図鑑 共著 平成21年12月 文溪堂／学年での動物飼育体験が子どもの動物への共感性及び向社会的行動の発達に与える影響の検討 共著 平成17年2月 全国学校飼育動物研究会会誌 第6巻1号／「幸せコアラ」小学校道徳読み物資料集 共著 平成23年3月 文部科学省 他

今、国では「21世紀型能力」を基軸に据えた新たな学習指導要領の改訂が進められています。学校教育はこれまでと異なる教育システムや指導方法を展開することが求められます。次代を担う子供たちに社会を生き抜き自己実現を図る資質・能力を身に付けさせることは私たちの責務です。「児童教育コース」は、こうした社会の要請に的確に対応できる教育者の育成を目指しています。現実的な課題を理論と実践の融合により追究するために、研究家教員だけでなく、校長や教育委員会で管理職を務めた実務家教員も指導に当たります。共に学校教育の未来を拓いていきましょう。

主な著書・論文・発表等

授業力を高める校内研修のアイディア 共著 平成18年7月 文溪堂／命を大切にする教育の徹底 共著 平成19年2月 教育開発研究所／規範意識の低下を防ぐために 共著 平成19年4月 文溪堂／「保護者宛文書」トラブル回避術 共著 平成19年7月 教育開発研究所／道徳、この1年でのチャレンジ 共著 平成20年4月 文溪堂／新学習指導要領と道徳教育の改善ポイント 共著 平成21年3月 教育開発研究所／「道徳」趣旨の徹底から具体的な実践へ 共著 平成21年10月 文溪堂／道徳グッズ大図鑑 共著 平成21年12月 文溪堂／学年での動物飼育体験が子どもの動物への共感性及び向社会的行動の発達に与える影響の検討 共著 平成17年2月 全国学校飼育動物研究会会誌 第6巻1号／「幸せコアラ」小学校道徳読み物資料集 共著 平成23年3月 文部科学省 他



教授
太田 繁
専門分野・研究分野
体育・スポーツ科学
主な担当科目
教育方法高度化演習／学習指導実践改革・改善の方策
学校教育総合実習
健康教育・体育系科の指導法研究
健康教育・体育系科の教材開発

経歴
1983年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了 教育学修士
都立高校勤務・専門学校、大学等の非常勤講師を経て、1990年4月より本学に着任。
日本体育学会等の会員

主な著書・論文・発表等
『図画工作』評価学会編「評価の時代」読み解く日本標準、2010年12月／「生きる力」としての「感性」を培う指導と評価 田中耕治編著『小学校新指導要領改定のポイント』日本標準、2010年11月／「幼児の絵と心をめざす評価」成田山教育福祉研究会会報、平成21年度／「ループリンクを使用した教育実習評価表の特徴と構造・単著、平成20年、聖徳の教え育む技法 第3号／「評価の可能性 ループリンクを使用した教育実習評価表」、平成21年度研究紀要 社団法人 全国幼児教育研究協会 58号／教員養成におけるVisual Literacyの指導一環アカウトの指導一、平成22年、美術教師教育の悪景 豊田師範大学(上海・中国)出版会／全国幼稚園研究協会・コーポレーション・マークデザイン 平成18年 他



教授
小泉 頂
専門分野・研究分野
美術教育、視覚デザイン
主な担当科目
教職実践課題解決研究／表現系領域の指導法研究
表現系領域の教材開発／幼児教育総合実習

経歴
2006年筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科芸術学専攻修了 博士(芸術学)
拓殖大学北海道短期大学を経て2000年4月より本学に着任。美術科教育学会、日本
保育学会等の会員

主な著書・論文・発表等
『図画工作』評価学会編「評価の時代」読み解く日本標準、2010年12月／「生きる力」としての「感性」を培う指導と評価 田中耕治編著『小学校新指導要領改定のポイント』日本標準、2010年11月／「幼児の絵と心をめざす評価」成田山教育福祉研究会会報、平成21年度／「ループリンクを使用した教育実習評価表の特徴と構造・単著、平成20年、聖徳の教え育む技法 第3号／「評価の可能性 ループリンクを使用した教育実習評価表」、平成21年度研究紀要 社団法人 全国幼児教育研究協会 58号／教員養成におけるVisual Literacyの指導一環アカウトの指導一、平成22年、美術教師教育の悪景 豊田師範大学(上海・中国)出版会／全国幼稚園研究協会・コーポレーション・マークデザイン 平成18年 他



教授
橋戸 雅夫
専門分野・研究分野
算数科教育法
主な担当科目
教育行政特論／危機管理演習
生徒指導実践演習／教育経営基礎演習
自然・生活系教科の指導法研究
自然・生活系教科の教材開発

経歴
千葉県松戸市教育委員会学務課長補佐、千葉県松戸市立新松戸西小学校校長、松戸市教育委員会学務課長、千葉県松戸市立常盤平第一小学校校長、千葉県松戸市教育委員会学校教育担当部長、千葉県松戸市立中部小学校校長として勤務。松戸地方特別支援教育研究連盟理事長、千葉県松戸市小学校長会長などを歴任。

主な著書・論文・発表等
松戸市教育委員会新任校長・教頭会講話 平成17年4月～平成20年3月／松戸市教育委員会教務主任研修会講話 平成17年4月～平成20年3月／松戸市教育委員会初任者研修会講話 平成17年4月～平成20年3月／松戸市教育委員会スタッフアップ講習会講義 平成20年7月、平成23年6月、平成24年6月／「生徒意欲を高め、確かな学力を支えるチームティーチング」平成20年11月 全国協力指導研究協議会(全国大会)／特別支援教育のねらと課題 平成21年8月／松戸地方特別支援教育研究連盟(研究会)／確かな学力・豊かな心を育む教育の追及 平成23年11月 千葉県松戸市立中部小学校(公開研究会) 他



教授
廣嶋 憲一郎
専門分野・研究分野
学校経営、社会科教育法
主な担当科目
教育課程基礎演習
人文・社会系教科の指導法研究
人文・社会系教科の教材開発／学校教育総合実習
カリキュラムマネジメント／学校カリキュラムデザイン

経歴
東京都立教育研究所統括指導主事、東京都多摩教育事務所主任指導主事・指導課長、東京都青梅市立河辺小学校長を経て、2004年より本学に着任。小学校学習指導要領作成協力者(平成元年・平成10年)、学習指導要領実施状況調査問題作成委員・分析委員、文部科学省学びのイノベーション推進委員会委員等を歴任。

主な著書・論文・発表等
生活科の再出発 単著 平成9年 東洋館出版社／自ら学ぶ総合的な学習の時間の創り方 共著 平成11年 東洋館出版社／総合的な学習の時間の実践事例と解説 共著 平成11～25年 第一法規／学校教育の評価改善事例集 共著 平成14～22年 第一法規／園解社会科授業 共著 平成17年 東洋館出版社／明治図書／学級づくりの相談室 共著 平成19年 明治図書／学級づくりの相談室 共著 平成19年 光文書院／小学校新学習指導要領ポイント授業づくり社会科 平成20年 東洋館出版社／小学校新学習指導要領の授業社会科実践事例集 編著 平成21年 小学館／これからの学習評価と指導要領 共著 平成22年 第一法規／小学校社会編事例で学ぶ教師の評価術 編著 平成23年 東洋館出版社／小学校社会編事例で学ぶ教師の評価術 編著 平成26年 月刊教職研修／地域の素材を教材化する教育活動の具体策 平成26年 初等教育資料2月号



教授
篠原 孝子
専門分野・研究分野
幼児教育学
主な担当科目
教育課程基礎演習／生活指導基礎演習
自然・生活系教科の指導法研究
自然・生活系教科の教材開発
幼児教育総合実習／特別教職実践演習B

経歴
東京都大田区立羽田幼稚園長、千鳥幼稚園長、文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官を経て、2010年より本学に着任。全国国公立幼稚園長会時報部長・全国幼児教育研究協会調査研究部長を歴任。

主な著書・論文・発表等
新保育シリーズ「保育内容人間関係」共著 平成20年12月 光生館／新指針・新要領イラスト図解ガイド 平成21年2月 ひかりの／新保育ライブラリ「保育内容環境」共著 平成21年3月 北大路書房／「こうすればうまい!」幼稚園・保育所と小学校の連携ポイント 編著 平成21年12月 ぎょうせい／「幼児の遊びと学び」共著 平成22年4月 チャイルド社／幼稚園教育要領の改訂 単著 平成20年5月「初等教育資料」／幼児期は幼児らしく豊かに生きる 単著 平成21年4月「幼稚園じょうじ」(全国国公立幼稚園長会)／幼稚園における魅力ある教育課程の編成と指導の実際 単著 平成21年5月「初等教育資料」／指導計画の作成一ポールと作業の実際一 単著 平成21年8月「初等教育資料」／学校教育としての意味 単著 平成25年3月「幼稚園じょうじ」(全国国公立幼稚園長会) 他



教授
楠 瑞希子
専門分野・研究分野
幼児教育史、イギリスの教育、比較幼児教育
主な担当科目
現代教育の課題研究／教育方法事例研究
幼児教育総合実習

経歴
1978年東京教育大学大学院教育学研究科修士課程修了 教育学修士
専門学校、大学等の非常勤講師を経て、1994年4月より本学に着任。幼児教育史学会、日本保育学会等の会員

主な著書・論文・発表等
『改訂保育原理』共著 平成21年 光生館／「教育原理」共著 平成21年 北大路書房／「教育史」共著 平成21年 学文社／「保育原理」共著 平成23年 全国社会福祉協議会／「白梅子ども学講座4世界の子ども政策から学ぶ」平成23年 白梅学園大学子ども学研究所／「イギリスの家庭の保育」(チャイルドマインディング)調査(4)－保育職格の再構築を通してみた旧労働党政権の保育充拡策－ 単著 平成23年「研究紀要」第21号 聖徳大学／「オーグランド統合学区(OUSD)の保育行政－就学準備教育施策を中心に－」共著 平成23年「教職実践研究」第2号、聖徳大学大学院教職研究科／「両大戦間期イギリスにおける保育学校運動再考①」平成26年「研究紀要」第24号、聖徳大学



教授
松山 武士
専門分野・研究分野
算数教育、学年・学級経営
主な担当科目
小幼・小中連携演習／学校教育総合実習
学年・学級経営実践研究／授業の高度化演習
組織管理マネジメント演習
学習指導実践改革・改善の方策

経歴
東京都教育厅指導部指導企画課指導主事、同人事部職員課管理主事補、東京学芸大学附属世田谷小学校教諭、東京都品川区立宮前小学校校長、同第三日野小学校校長、東京都港区立赤羽小学校校長・同幼稚園園長。日本数学教育学会常任理事、東京都算数教育研究会会长、東京都港区立小学校校長会長などを歴任。前聖徳大学附属小学校校長

主な著書・論文・発表等
教員養成基礎教養「小学校算数授業研究」共著 平成2年5月 教育出版社／コース別授業・少人数指導・課題選択学習 共著 平成15年7月 東洋館出版社／講座・算数授業の新展開 共著 平成22年4月 東洋館出版社／数学教育との連続性を重視した算数教育 平成20年11月「日本教育」日本教育会／教師力を高める「子ども関わる力」平成22年4月「指導と評価」図書文化／児童用教科書・「新しい算数(平成23年版)」平成4年4月～現在に至る 東京書籍／新編「算数科教育」(算数科教育研究会編) 平成22年4月 学芸図書／「算数・数学科教育」平成27年4月 一芸社／新編「新しい算数」平成27年版 東京書籍



教授
百瀬 定雄
専門分野・研究分野
スポーツ運動学、体育科教育学
主な担当科目
教育方法事例研究／授業の高度化演習
健康教育・体育系教科の指導法研究
健康教育・体育系教科の教材開発
教職実践課題解決研究

経歴
1993年上越教育大学大学院学校教育研究科教科・領域教育専攻修士課程修了 修士(教育学)
長野県公立小学校・中学校勤務を経て、2002年4月より本学に着任。(公財)日本体育学会等の会員 (公財)日本オリンピック委員会 強化スタッフ 日本体育協会 上級コーチ

主な著書・論文・発表等
長なわとび運動の基礎技術と発展技一キーリストス式運動指導法に連関して一 単著 平成27年2月 聖徳の教え育む技法9／2015年度版 スイカわら幼稚園教員採用実技試験 共著 平成26年4月 一ソ橋書院／21世紀スポーツ大事典 共著 平成27年1月 大修館書店／オリンピック冬季大会(2014ソチ)報告書 共著 平成26年6月 日本オリンピック委員会／自然・生活系教科の指導法研究／における学年構造について 共著 平成27年9月 教職実践研究5号／科学研究費補助金基盤研究(C)研究結果報告書「児童施設における遊具の事故防止のための児童の行動特性及び遊具の安全性について」共著 平成26年3月 東京都同窓援護会／清走スポーツにおける「ワーマンズ」向上に関する空氣力学的検討の意義と課題－ルージュナヨカルームの風洞実験を通して－ 単著 平成23年3月 聖徳大学研究紀要／児童の遊びと遊び 共著 平成21年6月 チャイルド社／スポーツ運動における循環運動の中間局面形成に関する研究－短なわとび運動の習熟過程を手がかりとして－ 共著 平成15年9月 日本体育学会第4回大会(熊本大学) 他



教授
西崎 勝則
専門分野・研究分野
教育行政学
主な担当科目
教員倫理演習／学校教育総合実習
組織管理マネジメント演習／学校経営・組織事例研究
地域学校事例研究／教育行政特論
小幼・小中連携演習／教育経営基礎演習

経歴
千葉県船橋市立高根中学校校長、千葉県船橋市教育委員会学校教育部指導課課長、千葉県教育厅教育振興部教職員主幹、千葉県教育厅東上総教育事務所所長、千葉県船橋市教育委员会教育次長、千葉県船橋市立海神中学校校長として勤務。千葉県船橋市立中学校校長会長、千葉県葛南ブロック小中学校校長会長、第30回関東ブロック中学校社会科教育研究大会千葉大会実行委員長などを歴任。

主な著書・論文・発表等
船橋市中学校社会科學習資料 共著 昭和56年5月～昭和59年3月 船橋市教育委員会／千葉県中学校社会科學習資料 共著 昭和57年4月～昭和58年3月 千葉県公立学校教頭会／生徒指導資料 共著 昭和62年4月～昭和63年3月 千葉県教育研究会／千葉県教育研究会連盟研究会における研究発表 昭和62年10月／中学校社会科教育に関する研究発表 昭和54年4月～平成6年3月／生徒指導・教育相談関係の研修会講師 昭和59年以降随時 千葉県、千葉県内市町教育委員会主催／学校の管理、運営に関する研修会講師 平成9年以降随時 千葉県、千葉県内市町教育委員会主催



教授
西村 佐二
専門分野・研究分野
学校経営、国語科教育法
主な担当科目
カリキュラムマネジメント演習／教育行政特論
教育経営基礎演習／学校経営・組織事例研究

経歴
東京都教育厅指導部主任指導主事、東京都教育厅指導部初等教育指導課課長、東京都目黒区立東山小学校校長、東京都目黒区立中目黒小学校校長を経て、2004年4月より本学に着任。全国連合小学校校長会会長、文部科学省小学校教員資格認定試験委員、全国小学校国語教育研究会会长などを歴任。

主な著書・論文・発表等
平成23年版小学校国語教科書(光村図書出版)編集委員／子どもたち、保護者、地域を結ぶあいさつ講話事典(小学校編)共著 平成19年4月 ぎょうせい／子どもたち、保護者、地域を結ぶあいさつ講話事典(中学校編)共著 平成19年4月 ぎょうせい／国語の活用力を育てる指導(監修)平成19年11月 光村図書／先哲の言葉に学ぶ小学校経営、教師像 単著 平成20年10月 教育新聞社／小学校国語 音韻・朗読の指導(監修)平成23年2月 光村図書出版／校長教頭試験・超研究 平成23年4月 単著 ぎょうせい／国語教育雑記帳 単著 平成23年9月 ぎょうせい



教授
藪中 征代
専門分野・研究分野
教育心理学、保育心理学、読書心理学(絵本)
主な担当科目
教育方法高度化演習／家庭教育・子育て支援演習
人文・社会系教科の教材開発
人文・社会系教科の指導法研究
幼児教育総合実習

経歴
2003年聖徳大学大学院児童学研究科博士後期課程修了 博士(児童学)
専門学校等の非常勤講師を経て、2003年より本学に着任。日本保育学会、日本発達心理学会等の会員

主な著書・論文・発表等
児童を対象とする外国語教育の国際比較 共著 平成19年5月 朝日出版／朗読聴取に関する教育心理学的研究 単著 平成20年2月 風間書房／保育内容・言葉—乳幼児のことばを育む— 共著 平成20年10月 教育出版／事例から学ぶ子ども主体の保育 共著 平成21年1月 チャイルド社／教科心理学ハンズブック 共著 平成22年3月 図書文化／保育の心理学—子どもたちの心の発達と保育実践— 共著 平成24年4月 教育出版／集団への絵本の読み聞かせに対する保育者の意義の認識 共著 平成23年4月 教材学研究第22巻／実習に関する学生の意識調査—実習経験が自己効力感に及ぼす影響— 共著 平成23年3月 聖徳大学(FD)紀要第5号／昔話絵本の絵が児童の理解および作話に及ぼす影響 単著 平成25年3月 聖徳大学研究紀要第23号／絵本をめぐる親子の言語の相互作用 共著 平成26年3月 聖徳大学研究紀要 第24号／教材事典 共著 平成25年9月 東京堂出版



准教授
宮本 友弘
専門分野・研究分野
教育心理学、教育測定・評価
主な担当科目
教育方法の理論
教育評価の理論と方法
発達心理学演習
学校教育総合実習

経歴
1994年筑波大学大学院心理学研究科博士課程単位取得満期退学 メディア教育開発センター助教授、びわこ成蹊スポーツ大学准教授を経て、2008年4月より本学に着任。日本心理学会等の会員

主な著書・論文・発表等
教科心理学ハンドブック教科教育学と教育心理学によるわかる授業の実証的研究 共著 平成22年3月 図書文化社／小学校6年間の学業成績の構造—ある小学校の継続的データから— 平成27年3月 聖徳大学研究第17号／教材事典—教材研究の理論と実践— 共著 平成25年9月 東京堂出版 他

学費

〈納付金等は一部改定される場合があります〉

初年度納付金(平成28年度)

《単位:円》

	納入時期	入学金	授業料	施設費	合計
					(その他費用を除く)
1年課程 〈組織管理マネジメント専修〉	入学時	440,000	514,000	150,000	1,104,000
	9月	—	514,000	150,000	664,000
	初年度納付金合計				1,768,000
2年課程 〈長期履修学生制度利用なし〉	入学時	440,000	325,000	150,000	915,000
	9月	—	325,000	150,000	475,000
	初年度納付金合計				1,390,000
3年課程 〈長期履修学生制度利用〉	入学時	440,000	225,000	105,000	770,000
	9月	—	225,000	105,000	330,000
	初年度納付金合計				1,100,000
4年課程 〈長期履修学生制度利用〉	入学時	440,000	180,500	79,000	699,500
	9月	—	180,500	79,000	259,500
	初年度納付金合計				959,000

その他、学生教育研究災害傷害保険料(1年分1,340円、2年分2,430円、3年分3,620円、4年分4,660円)、香和会費(入会金10,000円)を入学手続時納入、香和会費(終身会費20,000円)を修了年次徴収。(平成27年度実績)

長期履修学生制度

教職大学院の標準的な修業年限は2年ですが、長期履修学生制度を利用すれば、3年間又は4年間で履修し、学位を取得することができます。現職教員が勤務と学習を無理なく両立したい場合など、個人の学習環境やキャリアプランに基づいて修業年限を選択できます。

納付金が軽減されます

長期履修学生制度を利用した場合、単年度当たりの納付金額が軽減されます(上表を参照)。3年間又は4年間の納付金の総額は、修業年限2年の場合とほぼ同額になります。

出願時に修業年限を選択して申請

長期履修学生制度の適用を希望する場合は、出願時にあらかじめ修業年限を選択し(3年間又は4年間)、「長期履修申請書」(本学所定用紙)を提出してください。

教育訓練給付制度

聖徳大学大学院教職研究科教職実践専攻(幼児教育コース・児童教育コース)は厚生労働大臣指定「専門実践教育訓練講座」として指定されています。教育訓練給付制度とは、労働者や離職者が自ら費用(授業料等)を負担して、この講座(授業)を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部をハローワーク(公共職業安定所)から支給する雇用保険の給付制度です。

一定の条件*を満たす雇用保険の一般被保険者(在職者)または一般被保険者であった人(離職者)が聖徳大学大学院教職研究科教職実践専攻を受講した場合、本人が支払った教育訓練経費の40%に相当する額(ただし、その額が64万円を超える場合の支給額は64万円となります)がハローワーク(公共職業安定所)から支給されます。なお、組織管理マネジメント専修(1年制・昼間)・長期履修学生制度は対象になりません。

*受講開始日現在で雇用保険の被保険者であった期間が10年以上あること等(ただし、当分の間、初めて教育訓練給付の支給を受けようとする方については、2年以上あれば可)。詳細は厚生労働省のホームページを確認してください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/index.html>

入試日程

教職研究科 教職実践専攻(専門職学位課程) 一般入試、社会人特別入試、現職教員特別入試

日程	実施機関	入試日	合格発表	内容
A日程	2015年8月10日(月)~8月25日(火)	8月29日(土)	9月2日(水)	9月11日(金)
B日程	2015年10月26日(月)~11月10日(火)	11月15日(日)	11月18日(水)	11月27日(金)
C日程	2016年1月25日(月)~2月9日(火)	2月13日(土)~15日(月)のうちの希望日	2月19日(金)	2月26日(金)
D日程	2016年2月22日(月)~3月2日(水)	3月6日(日)	3月9日(水)	3月16日(水)

日付は変更になる場合があります。

オープンキャンパス情報

Open Campus

SEITOKU 大学院 合同説明会

松戸キャンパス 13:00-15:00

5/23(土)・7/11(土)・10/17(土)・2016 1/10(日)

オープンキャンパス日程

6/21(日)・7/19(日)・8/2(日)・8/16(日)・8/17(月)
10:30-15:00 10:30-15:00 10:30-15:00 10:30-15:00 10:30-15:00

8/30(日)・9/20(日)・10/11(日)・11/29(日)
10:30-15:00 10:30-15:00 10:30-14:00 10:30-14:00

大学のオープンキャンパスで、教職研究科の専任教員と直接相談できます。
あらかじめ、入学センター(0120-66-5531)まで、お問い合わせください。

東京聖徳学園は、全世代にわたる「人づくり」を実践しています

総合学園として幼児教育・児童教育を追究

本学園は昭和8(1933)年、聖徳太子が重んじた「和」を建学の精神に、聖徳家政学院と新井宿幼稚園の開設からその一歩を踏み出しました。幼稚園から大学院、生涯教育機関までを擁する総合学園に発展した現在も、学園全体が幼児・児童教育に関する研究機関であるとともに、相互に連携しながら最新の教育を実践する場になっています。



聖徳家政学院・新井宿幼稚園の開校・開園当時

系列校をはじめ、実習先が充実

教職大学院においても、数多くの系列幼稚園と、系列小学校を有する総合学園としての強みを生かしながら、教育の実践・実習を行える連携協力校を充実させています。



新井宿幼稚園時代の遠足で園児達と記念撮影